

opml2indesign.xsl

opml2indesign.xsl は、OPML 形式を InDesign 用に整形する XML スタイルシート (XSL) です。OmniOutliner、Tree、MindNodePro、Scapple 等の人気のエディタから出力した OPML 形式のデータを、InDesign のドキュメントへ自動組版することができます。
このドキュメントの本文は、実際に src/opml/README.opml を Tree で編集しながら生成しています。

OmniOutliner

<http://www.omnigroup.com/omnioutliner>

Tree

<http://www.topoftree.jp/tree/>

opml2indesign.xsl

→ **ADOBE INDESIGN**

MindNode

<http://mindnode.com>

使い方

クイックスタート

InDesign を使って XSLT を適用する使い方です。最もシンプルな手順で流し込みが行えます。

OPML書類を作成

任意のソフトウェアを使い、OPML 形式のファイルを作成します。Tree、MindNodePro、Scapple などのマインドマッピングツールや、各種アウトラインエディタが対応しています。

OPMLファイルの拡張子を.xmlに変更

拡張子を書き換えると、InDesign が XML として解釈できるようになります。

InDesignテンプレートを開く

resources/ 以下の InDesign テンプレートには、8 ～ 12 レベルの見出しと本文用のスタイルが XML 構造にマップ済みです。CS4 の INDD 形式か、CS4 以降のすべてのバージョンで互換性のある IDML 形式のいずれかを使用できます。

- a4_eng_cs4.indd, a4_eng_cs4-cc.idml - 英語用のテンプレートです。
- a4_jpn_CS4.indd, a4_eng_cs4-dd.idml - 日本語用のテンプレートです。

InDesignでXMLを読み込む

「ファイル > XML を読み込み ...」から、先程拡張子を書き換えた XML ファイルを選択します。この時に「XSLT を適用」をチェックし、opml2indesign.xsl をスタイルシートとして適用します。

Grunt.jsを使う方法

Grunt.js を使うことで、拡張子の置き換えや XSL の適用を InDesign の外部で自動処理できます。OPML を直接エディタで編集しながら InDesign に反映できるため、より原稿の執筆に集中できるワークフローが実現可能です。

grunt.jsとxsltprocを使用可能にする

node.js のモジュールが利用可能な状態にセッティングしてください。xsltproc は、MacOSX であれば標準でインストールされています。

ディレクトリ src/opml 直下にOPML書類を作成

gruntを実行

以下のタスクが実行されます。

- src/opml 以下のファイルを監視
- 変更があった場合は、XSLTを適用して build 以下へ出力

build内に出力されたXMLファイルをInDesignで読み込む

この場合では、XSLTを適用せずにそのまま読み込みを行なってください。Gruntが走り続けている間は、OPML ファイルに変更がある度に XML ファイルが再生成されます。このファイルに InDesign からリンクを設定することで、情報のリロードを簡単に行うことができるようになります。

トラブルシューティング

流し込んだテキストのスタイルがオーバー ライド状態になってしまう場合

InDesign の仕様上、フレームグリッドヘタグ付きテキストを流し込んだ際、フレームグリッド自体のスタイルが優先的に適用されてしまうようです。以下の対処方法があります。

オーバーライドを全消去する場合

テキストフレーム内のテキストを「コマンド+A」ですべて選択し、段落スタイルパレットのメニューから「オーバーライドの消去」を実行します。

同じXMLファイルを2回読み込む場合

テキストが流し込まれた後、もう一度同じファイルを同じ手順で読み込み直します。2 回目の読み込み時に、正しいスタイルが適用されます。

クレジット

著者

y_hokkey

1988 年生まれ。多摩グラ中退のグラフィックデザイナー。印刷物／Web／電子書籍／モバイルアプリ／業務用アプリケーションといった分野のデザインに携わっています。

こんなのも作ったりしています。
<http://metroexits.nobody.jp/>

ライセンス

opml2indexign.xml と、それに付属する InDesign テンプレートは MIT ライセンスで配布されます。改変・再配布・商用利用は自由です。は MIT ライセンスで配布されます。改変・再配布・商用利用は自由です。

Copyright (c) 2014 y_hokkey
Released under the MIT license
<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

サンプルレイアウト

以下は、InDesign サンプルテンプレートの流し込みサンプルです。

見出しレベル1・見出しレベ
ル1・見出しレベル1

見出しレベル2・見出しレベル2・見出しレベル2・見
出しレベル2・見出しレベル2・見出しレベル2

見出しレベル3・見出しレベル3・見出しレベル3・見
出しレベル3・見出しレベル3・見出しレベル3

見出しレベル4・見出しレベル4・見出しレベル・見出しレベル4・見出しレベル4・見出しレベル4

見出しレベル5・見出しレベル5・見出しレベル5

- 見出しレベル6・見出しレベル6・見出しレベル6
- 見出しレベル7・見出しレベル7・見出しレベル7
 - ・見出しレベル8・見出しレベル8・見出しレベル8
 - ・見出しレベル9
 - ・見出しレベル10
 - ・見出しレベル11
 - ・見出しレベル12